

第1問 例にならって次の和歌の掛詞と縁語とを指摘せよ。

(例) 下燃えに思ひ消えなむ煙けぶりだに跡あとなき雲の果てぞ悲しき

『新古今和歌集』

- ・ 掛詞：「思ひ」↓「思ひ」と「火」
- ・ 縁語：「燃え」「火」「消え」「煙」

初瀬はつせに詣まうでて帰かへさに、飛鳥川あすかがはのほとりに宿りて侍りける夜、よみ侍りける。

故郷へ帰らんことは飛鳥川渡らぬさきに淵瀬ふちせたがふな

『新古今和歌集』

